

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

事業所名: サニーフレンズ平島

公表 2024年3月19日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を 踏まえた改善内容又は
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動内容に応じて1階・2階のスペース分けて活用している。クールダウンのスペースもある。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基準以上の配置をしている。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		利用児の特性に合わせた配慮をや見守りを行っている。	
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			職員会議と都度ミーティングを行っている。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者等のご意向は所内で共有し改善につなげている。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公表する。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内外の研修に参加し資質向上に努めている。	
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者様のご意向も含めて支援計画に反映している。	
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月で予定を立て毎朝礼時にチームにて確認している。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			思考力・リズム・運動・体幹等踏まえて幅広く活動プログラムを作成している。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日休日長期休暇はプログラムを変え課題に沿った支援を工夫しながら行っている。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個々に合った個別計画を作成をしている。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼を毎日行い、注意点やプログラムについて確認している。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終礼を毎日行い、振り返り、気付きを職員間で共有している。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			サービス提供記録表を全体に周知し、課題があれば検証・改善に向けた会議を行っている。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月ごとにモニタリングを行い、ご家庭での様子や学校での様子を聞き取りをしている。	
関係	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○				
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校へのお迎え時は先生と情報交換・情報共有に努め、トラブル時には迅速な対応をしている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			子どもの主治医等と対面・文書・電話にて連絡体制を整えている。	

機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		保護者の同意を得た場合は極力情報共有に努めている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			(対象者なし)	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		業務に支障がない範囲でなるべく研修に参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		子ども支援部会・強化教育事業になるべく参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時・連絡帳・電話・SNS・面談で情報共有を図っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		気軽に相談して欲しい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時丁寧な説明を心掛けている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談あれば支援を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	必要性を考えながら対応を決めていきます。	
非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		迅速な対応をこころがけている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		SNSを活用し活動内容を発信している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報は厳重に管理している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		年に2回のお祭りや、ハロウィンイベント等に案内をお配りしている。参加して下さる地域の方もおられる。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2月実施し、消防署に届出している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止委員会を設置し研修・対応を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		現在身体拘束を必要とする児童はいないが研修を行い知識の向上に努めている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		保護者様より頂いた情報をふまえてスタッフに周知し、常に表示している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		共有・閲覧できるようにしている。	